

令和元年度第2回えなの森林づくり推進委員会全体会議 会議録

日 時：令和元年 12 月 16 日（月）
午後 1 時 30 分から午後 3 時まで
場 所：恵那市役所 会議棟 中会議室

出席委員 10 名

1 番 岡田 努 2 番 足立健二 3 番 寺澤俊二 4 番 鈴村今衛
5 番 伊藤兼正 6 番 小林太朗 7 番 佐藤大輔 11 番 安藤由美子
12 番 小椋正明 16 番 山本喜美江

欠席委員 7 名

8 番 曾我良久 9 番 小木曾正富 10 番 森岡哲朗 13 番 所 正幸
14 番 高橋幸生 15 番 藤村聡樹 17 番 工藤博也

アドバイザー出席者

東濃森林管理署 森林技術管理官 稲垣正紀
岐阜県森林組合連合会 東濃林産物共販所 所長代理 安田博孝（代理出席）
恵那農林事務所 林業課長 田口 剛
同 森林整備係長 大重隆太郎

事務局

恵那市農林部長 林 雅樹 同部次長兼林務課長 勝川甲子
林政課 管理官 杉本金一郎 林政課課長補佐 原田宏明

開会 午後 1 時 30 分

1. 開会挨拶

委員長 足立健二

2. えなの森林づくり推進委員会の取り組むべき課題の中間報告

中間報告のため、実施状況及び目標数値の報告を行います。（説明者：事務局）

【未来への枠組み】について説明 （資料別紙）

【森林を活用する】について説明 （資料別紙）

【森林を守る】について説明 （資料別紙）

【森林を支える】について説明 （資料別紙）

事務局： 令和元年度の取組の中間報告ではありますが、現在の取組に対する意見を頂き令和2年度の予算への反映や活動内容の検討をして頂き更なるえなの森林づくり実施計画を実行して行きたいと考えていますので多くの意見をお聞かせ下さい。

【未来への枠組み】・【森林を活用する】・【森林を守る】については、特に意見なし

【森林を支える】についての質問と回答

②技術者者育成の支援

委員 本年度、恵那市森林組合が森のジョブステーションに登録した。

来年度、岐阜県森林文化アカデミーに恵那農業高等学校の生徒が2名入学するので、森林組合に就職していただくよう、岐阜県森林文化アカデミーに協力願いたい。（インターシップ等）

③えなの森林づくりポータルサイトの作成

委員 えなの森林の取組についての、情報発信はどのようになっていますか。

事務局 えなの森林づくりポータルサイトの作成については、運営や管理が出来ないため、開設されていません。

しかし、SNS や恵那市の facebook 等で今後発信していきます。

山仕事手習い塾や、森のインターシップ・チェンソー講座等を開催し各講座の参加者の方に、えなの森林の取組について SNS や個人の facebook 等で情報発信していただくようお願い致しました。

令和2年度も、引き続き手習い塾や、各種講座を開催し担い手育成に努めていきます。

各 NP0 法人の取組状況について、行政サイドでなかなか把握する事が出来ず、各種行事の PR が不十分なため、今後は各 NP0 法人と連絡を密にし効率的な PR が出来るよう検討します。

⑦木育の推進

委員 木育の推進について現在の進捗状況はどうですか。

事務局 森のようちえんの設置は出来ておりませんが、先般、(株)リコー様からリコーえなの森中山道里山協議会の取組状況の報告にお見えになりました。

この取組の中で、「リコーえなの森」を有意義に活用してほしいとのお話を頂きましたので、(株)リコー様の協力を得て各種講座を計画し、木育の推進に努めて行きます。

・全体の取組について

委員 4つの取組について目標数値がはっきりしていないので、各部会で再度検討してはどうですか。

事務局 目標数値については、今後各部会にて検討いたします。

委員 SDGs（持続可能な開発目標）への取組は可能ですか。

事務局 持続可能な森林の管理を、今後の取組の中で行って行く。

（森林環境贈与税の有効活用など）

3. 来年度の新たな取り組みについて（説明者：事務局）

事務局 「地域商社」（一社）ジバスクラム恵那（資料別紙）について説明する。

委員 （一社）ジバスクラム恵那を利用して、人材育成への取組は可能ですか。

事務局 持続可能な地域づくりを行うため、販売促進支援や人材育成・商品開発支援などの機能を地場（市内業者）と域外市場とのつなぎ役となります。

委員 期待しています。

事務局 恵那木造建築流通協議会（仮称）の設立については、令和元年度にえな
の木で家づくり支援に関して、市内建築業者 18 社に対して木材利用につ
てアンケート調査を実施しました。

アンケートの内容は、木造住宅の新築件数やリフォーム件数に始まり、
市内建築か、市外建築や使用材料の仕入れ先や市内産材や県産材利用につ
いても調査を実施しました。

年間新築件数のうち、約 6 割が市外での施工となっています。

使用材料については、特別な材料以外は、市内の販売店から仕入れてい
ます。

恵那木造建築流通協議会（仮称）のメンバーは、恵那商工会議所及び恵
南商工会に加入している事業者の方を対象とし、メンバーの人選について
は恵那商工会議所及び恵南商工会に依頼してあります。

令和元年度中は、今までの経緯についてお話し令和 2 年度中に協議会を
立ち上げ木材流通に繋げて行きたいと考えています。

併せて、林政課と環境課が協力して、健康住宅建設についての提案を行
って行きます。

アドバイザー 恵那農林事務所森林整備課 大重氏

森林環境税及び、森林環境譲与税について説明（別紙資料）

4. その他

特に意見なし。

5. 会議の公開について （恵那市付属機関等の会議の公開に関する要綱） （別紙 1）

6. 閉会のあいさつ

小椋副委員長挨拶

閉会 午後 3 時